

函館夜景

溝口由起

今年の春分の日、三月二十一日の夜、NHKテレビで生活の中から暖かい灯を通して観る函館の夜景が放送された。

四季折々の夜景は、いか釣り漁解禁の六月からは漁り火が夜景を引き立たせ、霧の出る夏はベールのかかったような幻想的な光。空気の澄んだ秋から冬は輝きを増し「宝石をちりばめたような世界一の夜景」が楽しめる。

夜景は市民の誇りであり、八年前から



「夜景の日」が始まった。その謂れは、数字の八の「ヤ」とトランプのキングの「K・ケイ」を組合せ「K」は十三の数だから「ヤケイ」の日を八月十三日と決め、市民参加のイベントが行われている。

市民参加といっても大がかりなことではなく、午後八時十三分に函館山に向ってカメラのフラッシュを焚いたり、窓のカーテンを開けるなど簡単に参加出来る。

私が「FMいるか」に在職中「夜景の日」の中継を担当して印象に残っているのは、九十四年に青年商工会議所の方々が、港内の緑の島一杯に篝火で「イカ」の形を作り、イカの足の部分が動き驚かされた。八メートルの「イカの足」を百人が篝火を持って全力疾走したとのことであった。

NHKの中継の中では、大三坂を使って新しい「灯り」の演出が紹介されていた。函館山をはじめ、今迄の高い所から「夜景」を見るとき発想から、西部地区を歩きながら「灯り」を感じるといふ、アイディア。変化していく「灯り」、これからも発展していく「函館夜景」を期待したい。

函館の美観は函館山からの夜景と西部地区の町並みがポイントである。しかし西部地区の公会堂をはじめ歴史的な建物は百年の時をこえるものもあり、歴史の遺産ともいふべき美観を未来に残すための努力が必要となつて来ている。

函館市では昭和六十三年に「西部地区歴史的景観条令」、平成八年には対象を全市に広げた「都市景観条令」を制定し景観形成指定建築として四十八件を指定、公会堂をはじめ七十六件を伝統的建造物に指定し、町並みの保全に努めている。

本格化する
函館の町並保存

市が景観保存に動き出す一方市民からも「町並み保存に役立ててほしい」と市に寄付が寄せられるようになった。

そこで、これらの浄財を有意義に活用するため「函館市西部地区歴史的町並み基金」を平成五年に設置した。基金に

は市民から寄せられた寄付金のほか、市も毎年積立を続け、七億円の基金の造成を行なっている。既に九年度迄に市の積立が約三億四千万円、市民の寄付の積立が約二千九百万円、合計約三億七千万円に達している。

基金の運用益で毎年数件の指定建築物の維持管理の経費や防寒改修などの補助が行なわれ、確実に成果を挙げている。

函館市役所便り

平成十二年四月の開学を目指している公立大学の名称は、次のように決まりました。

「公立はこだて未来大学」

公立大学の名称は「函館公立大学」と仮称してきましたが、広く一般公募をしたところ一五・一三・八・一四種類の応募がありました。専門委員会などで検討して候補作を絞り、広域連合議会にも意見を聞いて決定したものです。

広域連合としてキーワードを「未来」(漢字)とし、「函館」をひらがなで表記することで決定したものです。

訂正 前号のトップ記事で大学名を

「国立函館大学」と表記しました。お詫びして訂正します。

新入会員紹介

- 石野文子(高盛)、伊勢田良子(新川)
- 伊藤真人(弥生)、岩山良己(尾白内)
- 一戸光一(相野)、坂本喜久子(東川)
- 柴田弘治(巴)、加我光徳(千代岱)
- 敦澤義彦(知内)、野崎弥寿子(湯川)
- 三浦幸一(森)、橋本寛治(東川)
- 福島 紀(鎌歌)、花卷省三(大野)

和田貞一さんの思い出

山下 静一

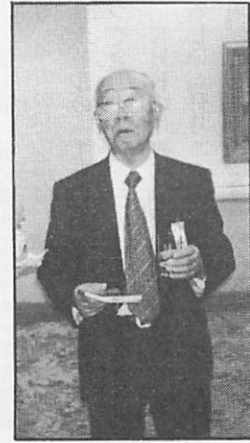
和田さんとの初対面は昭和二十年代半ばだったと記憶している。和田さんの一高時代の親友が、昭和電工事件で疑いを掛けられ、やがて無実となったことから親しい友人十数名が慰める会を催した。

私も招かれ、そこで和田さんと言葉を交わしたのである。勿論函館出身同士というのでなく、初対面の言葉のやりとりだったと思う。和田さんは確か四十五、六歳で、占領政策で旧王子が五分割され、苦小牧製紙となり、その取締役だった。

それにしても日本最大の製紙会社の営業の責任者という、大変な抜擢を受けられた方であった。

他方労使関係は極めて困難な様相をおび、遂に王子大争議という全国を震撼させた事態を招き、文字通り寝食もままならぬ苦労を重ねられたはずである。

そういつた折り、道南会という故郷の人の集まりを創ろうと、阿部さんというパイオニアが駆け回り、和田さんや私どもを説き伏せ、昭和三十五年の夏、数寄屋橋のニュートーキョウ（今の場所でない）に道南会の初会合を持ち、今日の立派なふるさと会を創ったのであった。その頃は先輩が多数健在だったから和田さんも私も顧問ということで、この会を盛り



たててゆくのに協力することになったが、私としては和田さんとの奇遇に心強さを感ずるとともに、事実その後和田さんが道南会長になられるや、いろいろな機会にお手伝いすることになった。

和田さんとはお会いする機会が多かったのに、ただの一度も会社のことや自慢話とか、あるいは愚痴めいたことを口にしたことがなかった。のみならず将棋がえらくお強いとの評判や、ゴルフの練習も熱心だったと人伝に耳にしたが自分から話されることはなかった。

何といつても和田さんの庶民感情を大切にされる処世観に敬服せざるをえなかった。それゆえ道南会の今日あるは和田さんの処世観に負うところ多大だと信じているのである。

和田道南会名誉会長の「冥福を祈る。

（道南会名誉会長）

和田さんは函館国際ホテルがお好きだった。毎年六月二十五日に「碧血碑」前で旧幕軍戦死者の慰霊祭が営まれ、旧幕臣ゆかりの和田さんは、帰函して参列されるのを楽しみにされていた。

和田さんの伯父君が五稜郭にたてこもり、幸い生き長らえ後年「碧血会」の初代会長を務められたと伺うが、平成七年の法要にもお元気で参列された。私は同じ日、宝小學校同窓会に出席するため、帰郷することになった。

そのことを耳にされた和田さんは、二十四日、同ホテル八階の「松前」で夕食をご一緒しようとお誘い下さった。

しかも「はこだて財界社」主幹・編集長の厚谷郁夫さんにも是非声をかけて下さいとの嬉しいお話。厚谷さんがお顔を見せた六時すぎ、窓の向こうに暮れなずむ巴港の風景は、函館思いの三人の気持ちを一つにしてくれた。

乾杯のビールのおとは、千歳鶴のほどよい爛が和田さんの頬を少し赤く染め、思い出話はとめどもなく次々と繰り出されていった。和田さんが弥生小学校を大正



六年と一緒に卒業した奥野つや子さんが、文豪久米正雄氏の夫人になったとか、古い地図に興味を持たれ、札幌の友人から贈られた「函館真影図」は美術的にも貴重なもの愛蔵しているとか、話題のひろがりにはびつくりするばかり。

一方、厚谷さんは旧函館新聞、北海タイムス、毎日新聞と記者生活の後、今日の地位を得られただけに、そのご苦労話は傾聴させるものがあつたが、今テレビで司会や解説をされているお話もご同慶に堪えなかつた。

そして九時近くに一階のバーに降り、

函館国際ホテルの一夜

能味寿哉

顔馴染みのバーテンに何時ものカクテルを注文し話題は尽きる事なく続く。厚谷さん

んが「今夜は本当に気分よく酔わせて頂きますして」と何度も感謝の言葉を口にされるのが、とても印象的であつた。

私も和田さんの大きな懐の中で甘えていたこの歳月を思い、心豊かに家路を辿ったことである。

（最後に名誉会長を親しげに和田さんとお呼びした非礼をお詫び申し上げます）

（道南会副会長）

唄の和田さん

西原 林之助

われらが敬愛してやまない和田貞一さんが、このたび天寿を全うされた。日頃お年を感じさせないほど、お元気であられただけに、ご逝去は大きなショックであった。

誰もが知る通り、和田さんは心の底から郷土を愛し、郷土のため貢献された。道南会白楊ヶ丘同窓会、弥生会等等郷土の会の創立を主として発起され、設立後はその発展のため尽力を少しも惜しまれなかつた。そして、こうした会合では、和田さんは何時も本当に楽しそうであり、時に興到れば唄を唄い出すなど、嬉しい限りの茶目っ気であった。唄はわれわれが子供のころに唄った「スーゼンプー・イワンプー」など、郷里の童謡を始め、かずかずであつて、それらを実に鮮明に記憶しておられた。

中でも感銘したのは、小学校卒業の歌である。これは普通「仰げば尊しわが師の恩」であるが、どういうわけか函館では「年月めぐりてはやここに 卒業証書を受くる身と なりつる君らの嬉しさは云々…」であつた。僕などは実はすっかり忘れていたのを思い出し、思わず涙した。しかし沢山の持ち歌の中でも最も得意としたのは、あの「旅順開城約なりて」(水師營)であつた。そこである時伺つて見た。

「この歌を大変お好きなのようですが、何かわけでもあるのですか」「うん、実は大ありなんだ。明治三十七年暮、さしも不落の旅順大要塞も遂に降伏、日本全国は沸きに沸いた。たまたまその頃ボクは生まれたのだ。だからこれはボクの誕生の歌でもある」と何々大笑された。

本当に和田さんは日露戦争に始まり、第一次、第二次大戦、そして戦後の民主日本を身をもつて体験されたのである。この経験豊かで学識高き、敬すべく愛すべき人物は、もう世にいない。痛恨と云うの他ない。一人人間とは、どうしてこんなに無情とも見える程はかないものなのであろうか。ただただ、ご冥福を深くお祈りするのみである。

合掌 (道南会副会長)

身辺雑記

室谷 邦雄

◇昨年一月、道南会会長に就任して一年半経つた。この間、幹事のお世話で毎月梅見、観桜、工場見学、ハイキング、市場視察、観光旅行等を行なつて会員の懇親を深めている。私は毎回参加しているが、弦巻松前会長、相馬上磯会長、早坂さんご夫妻、沼崎さんご夫妻



渡辺忠雄氏(左)

など、常連も増えている。希望者は、封の葉書に行事案内のアンケート欄に記入して頂ければ次回からご案内を差し上げる。

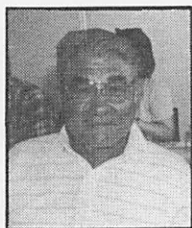
◇五月二十八日の日銀旧友会で渡辺忠雄さん(三和銀行名誉会長、百歳)にお会いした。車椅子の生活で殆ど外出されない渡辺さんが、珍しく出席され松前日銀総裁はじめ古い仲間と歓談されていた。

渡辺さんは道南会初代会長渡辺紳一郎さん(故人、NHK話の泉メンバー)や道南会の創立世話人だった阿部良平さんなどと函館中学を、昭和六年に卒業した同期生であり、お三人とも道南会創立の発起人をされた古いメンバーである。

◇五月十八日、当会名誉会長の和田貞一さんが九十三歳で逝去された。和田さんのことは他の方々が詳しく書かれる筈なので深くは触れない。和田さんは山下名誉会長とともに道南会創立時から育ての親である。和田さんは王子製紙王子クラブの理事長のまま逝去さ

れた。私はしばしば銀座にある王子クラブへ和田さんを訪ね、警咳に接するのを楽しみにしていた。

和田さんの函館弁は無類のものであつた。「函館弁保存会」を発展させる相談をしようと思つて矢先の急逝で、この点でも残念でならない。



◇橋本晋一さんも三月二十日に急逝された。享年七十一。柏野小学校、函館中学、早大を卒業、元ラクビー日本代表選手で元早大ラ

クビー部の監督であつた。「ターザン」の異名の持ち主で、体躯堂々、しかし心優しく、道南会の行事には欠かさず出席され、多くの会員から敬愛されていた。

◇また、五月二十九日に「国際的呼び屋」として活躍し、居酒屋チェーン店「北の家族」を展開した元会員の神彰さんが七十五歳で逝去された。

合掌 (道南会会長)

函館を舞台の新作映画

「キリコの風景」は、函館大好ききの森田芳光脚本、明石知幸監督が函館を舞台にした小林聡美主演の新作。七月二十五日から新宿の「シネマスクエアとうきゅう」「横浜オスカー」で封切。

道南会行事報告

平成十年前半の行事の報告です。

☆「新年総会」

一月二十九日(木)午後六時より。

「日本工業倶楽部」で開催、室谷会長挨拶、木戸浦函館市長祝辞(後藤東京所長代読)九年度事業及び決算報告と十年度事業計画の説明を承認。新入会員紹介の後、山下名誉会長の発声で乾杯から懇談にうつり、最後に福引きがあり、参会した百二十名全員に豪華景品が当たった。

☆「観梅会」

三月七日(土) 正午調布市の神代植物公園で「観梅会」を開催、三十名が参加。風は冷たかったが、晴天に恵まれ三百本の梅林に八分咲きの紅梅白梅が香っていた。梅林に近い広場でビールとお酒を酌み交わし、公園を一巡して裏手



神代植物公園梅林

☆「観櫻会」

の深大寺を参詣、名物の深大寺そばを味わって午後三時散会。



小石川植物園桜並木

四月四日(土) 昼、地下鉄「茗荷谷」駅前に集まり、播磨坂一杯に咲き誇る櫻のトンネルを通り抜けて「東京大学付属小石川植物園」に入る。その昔は幕府の葉草園で「赤髭の診療所」もここにあった。三十五名の参加者は満開の花の下で弁当を広げ写真を撮りあい、広い園内を一周して散会。

☆「松前櫻を観る会」

四月二十五日(土) 昼、JR亀戸駅前を出発、生憎の雨の中を亀戸天神に咲誇る藤を眺めてから香取神社に向う。神社の前で香取飯店を営む川端行夫さんは松前の出身で、郷里の松前櫻を東京で咲かそうと三十年苦心の結果、神社の参道に立派な松前櫻の並木を作り上

げた。参会者は櫻を眺め、境内に記念植樹をさせてもらった。終って全員八十名が社務所で昼食会を開いたが、道南会員の他、松前会員、上磯会員も参加されて自慢の追分節に拍手が沸いた。川端さんの日頃のご努力には頭が下がる思いであった。

☆「大河ドラマ・スタジオ見学会」

七月七日(火) 午後、二十五名の会員がNHK「徳川慶喜」の「京都御所の廟議の場面」の収録をスタジオ内で見学。

☆「サツポロビール千葉工場見学会」

七月二十五日(土) 午後一時半。

納涼を兼ねた恒例の見学会に、三十名が参加。マリンシアター、ラインを見学、終わって出来たての生ビールで乾杯。

道南会行事予定 (平成十年後半)

★「道南会夏期懇親会」

八月二十二日(土) 午後一時

御茶ノ水「ホテル 聚楽」

★「江戸・東京博物館見学会」

九月上旬、JR総武線 両国駅集合

★「皇居東御苑散策」(検討中)

十月中旬

★「紅葉狩りと温泉を訪ねて」

十一月初旬(検討中)

★「歳末築地市場視察」

十二月下旬

★「道南会新年総会」

平成十一年一月下旬

同窓会便り

◆函館東高校関東地区青雲同窓会

五月三十日(土) 午後五時

ハートイン乃木坂、百五十名

◆函館白百合関東支部同窓会

五月三十日(土)

高輪プリンスホテル、百二十名

◆函館商業高校同窓会東京支部総会

七月二十五日(土) 午後三時

エビスガーデンプレイス、百三十名

◆白楊ヶ丘(函中・中部)支部総会

十月二十四日(土) 午後一時

内幸町、プレスセンター

◆遺愛同窓会

十二月三日(木) 午前十時半

アイビーホール青学会館

◆東京常盤会

六月二十日(土) 午後二時

NHK青山荘

◆函館師範付属同窓会

七月四日(土) 三井クラブ

◆東京幸会

九月十二日(土) 午後二時

飯田橋大神宮会館

◆東京弥生会

十月二十三日(金) 午後六時

三越特別食堂

◆東京青柳会

十一月七日(土) 午後一時

霞友会館